第5次明日香村総合計画ワークショップ 報告書

ワークショップ開催概要

	テーマ	日時・場所	参加者数
第1回	明日香をだれもが暮らしやすいむらにしていくために	平成 30 年 11 月 1 日(木)	29名
	(子育て、教育、健康、地域福祉、公共交通、防災)	午後 2 時~4 時	
		健康福祉センターたちばな	
第2回	明日香らしさを守り、継承していくために	平成 30 年 11 月 1 日(木)	17名
	(農林業、自然環境の保全、景観づくりなど)	午後7時~9時	
		健康福祉センターたちばな	
第3回	明日香らしさを活かし、活動や交流をつくるために	平成 30 年 11 月 15 日(木)	17名
	(観光・商工業・文化財を活かした地域活性化、働く場	午後7時~9時	
	づくり、情報発信など)	健康福祉センターたちばな	

第1回「明日香をだれもが暮らしやすいむらにしていくために」

1) 当日スケジュール

時間	内容
14:00	開会
14:00~	挨拶
	会の進め方の説明
$14:15\sim 14:30$	村の現状と課題について説明
$14:30\sim15:25$	グループワーク
	(参加者自己紹介)
	「1班:明日香の未来を担う子どもたちを育てる<子育て、教育>」
	「2班:健康で生き生きと暮らしやすい村づくり<健康、地域福祉>」
	「3班:安心・安全・快適に暮らせる村づくり<暮らしの環境(道路・
	交通・防災など) >」
15:30~	意見のまとめ (各班発表)
16:00	閉会

2) 意見のまとめ(各班発表)記録

- ◆1班:明日香の未来を担う子どもたちを育てる〈子育て、教育〉
- ・明日香村は人口・児童数が全体的に少なく、それが様々な分野に影響が出る。
- ・遊び場、公園ほか、子どもたちが利用できる場所の数が少ない。ママ友や現役のお母さんが、子 どもを連れて遊ぶ場所や、実際に子どもたちが遊ぶ場所が少ない。
- ・明日香で住み続けたり、他所から明日香に住みたくても、働く所もそうだが、実際に住む場所や 住宅を建てられる場所が少ない。建てられるところが出ても、土地があまりにも広く、そんなに も必要がないというところもある。
- ・小学校→中学校の進学の時、部活や進学面で村外へ転出してしまう。中学で部活をやるのに人数 が必要な野球やサッカーが成り立たない。進学実績が劣っているわけでもないのに、受験で私学 に行ってしまうこともある。
- ・周辺の橿原や高取と部活の面で合同チームの取り組みで対処している面もある。それがないスポーツだと、学校で参加できる大会が限られてしまう。
- ・中学校の予算で、海外交流とか、教育施設の充実は図られていることを、もっとアピールしたらいいのではないか。
- ・子育て支援について、仕組みと利用者とがあっていないように思う。子育て支援センターがあるが、条件や情報が利用者にとってまだうまく受け止められていないのでは。子どもを連れて利用者が来ても、人がいなくて、ママ友もなかなかできにくいという状況もある。せっかくそのような場があるのであれば、それを活かす機会、稼働率を上げて、うまく出会いの場としてやっていけないか。
- ・世代間のコミュニケーション、子どもを持つ世代でもいろいろな年代の方がいるので、それを飛び越えてコミュニケートできる環境づくりがこれからは大切なのだと思う。

- ・保育園の入園に対する配慮や待機児童への対応が必要。
- ・環境・インフラについて、あくまでも車の移動が中心で、歩道を歩くのに難点があるのではないか。道が狭い。歩道が狭い。車や自転車が多い。何をするにも車が必要。買い物だけではなく、 子どもがちょっと遊びに行くにも、夜街灯が暗かったりして送り迎えが必要。
- ・良い所はたくさんあり、四季を感じる。「楽(たの)スポ」は村外の人からも羨ましがられる。学 童が6年生まで19時までで、ほかの自治体の人から羨ましがられるほど制度としては充実してい るのに、それがいい風に生かされていないのでは。





◆2班:健康で生き生きと暮らしやすい村づくりく健康、地域福祉>

- ・大字ではいきいきサロンの活動があるところもあるが、みんなで集まる茶話会やサロンがないところもある。
- ・交通、特に高齢者が車などの運転ができなくなって、交通手段がなくなると、出かけられなくな り、引きこもりなどの問題につながる。
- ・高齢者が多いが、「生きがい」や「目標がない」、「家に居場所がない」ということに「キョウイク: 今日行く所がある」「キョウョウ:今日用事がある」というようになれば良い。
- ・世代間交流がないため、大字によっては七夕などの集まりにより、子どもとのふれあいができる 場づくりが大切。
- 買い物ができる、スーパーがない。





◆3班:安心・安全・快適に暮らせる村づくりく暮らしの環境(道路・交通・防災など)

- ・飛鳥駅前の交差点について、歩行者信号が短く、観光客がうまく渡れない姿をよく見るので、スクランブル交差点のような形にしてはどうか。また飛鳥駅前に歩行者だけの信号案内を作ったら、もう少しスムーズになるのではないか。
- ・村内の大きな道の歩道はよいが、集落内の道はせまい。道路の白線が消えている所がたくさんあり改善してもらいたい。
- ・集落の中に観光客が迷い込むことが多くある。自転車や歩いてくる人が迷ってくる所には、例えばサイクリングコースはこの色の線をたどっていけば、観て回れるというような誘導線を作って、 村内の一般住宅地にあまり人が入らないように対策ができないか。
- ・暮らしに関して、買い物困難者に対して何か手助けができないか。明日香村の中にはスーパーや 薬局がない。スーパーや薬局と連携して販売車を運行したり、商業用地を増やして企業を誘致し てはどうか。
- ・明日香村内で光回線の充実をめざし、光回線を使ってテレビやインターネットで、IT企業と連携して簡単に「ポチッと」買い物できるシステムを構築できれば、山間に住んでいる独居老人の 方がもう少し買い物がしやすくなるのではないか。
- ・粗大ごみの回収回数を増やしてもらって、不法投棄を取り締まって欲しい。
- ・広報紙について、2世代同居の家庭で、1部しか配布されず、若い世代まで回ってこない場合がある。そういう家庭には2部送ってもらったり、配布時期が大字によってさまざまで、月終わりに配られる所もあるので、配布時期を早めにしてもらえれば。広報紙の設置場所も増やしてもらいたい。
- ・若い世代はホームページの活用が増えてくるので、広報紙を月が変ったら見たい情報をすぐ見れるようにして欲しい。保育園・幼稚園や子育て支援の情報をホームページにわかりやすく掲載したり、むらのイベントや行事など、見たい情報がすぐ見れるように、わかりやすいホームページにして情報発信に努めて活用してほしい。
- ・明日香の景観について、飛鳥川周辺で夏場に草が繁茂するスピードが速いので、大字だけに年2 回草刈りを任せるのではなく、村としても飛鳥川周辺の草刈りも含めて景観をきれいにする取り 組む支援が必要では。
- ・災害時の避難について、山間では避難警報などが出て、車のない方や移動が厳しい方に対して対策を取る必要がある。また支援が必要な人だけではなく、大字や村内全域で、災害時の対応について周知徹底が大切である。動けない人に対してだれが動くということを事前に決めるなど、日頃より避難する意識啓発が必要である。





3) グループワーク記録

◆1班:明日香の未来を担う子どもたちを育てる〈子育て、教育〉

<人口・児童数の少なさ>

(10) LE (10) CO		
現状・課題	アイデアなど	
・結婚されない方が年々多くなっていると思う。	・村外に向けて村の良さをアピールする。	
・子どもが少ない。	・働く場所:場所を選ばない在宅ワークのような	
・日本の人口は減少している。人の取り合いをす	ものやパソコンがあればできる仕事。	
るのではなく、明日香には明日香の良さを出す		
ことが大切。		
・明日香村から学生時代に出て行かれたら明日香		
に帰らないのが問題だと思う。		
・遊んでいるのを見る機会がない。橿原市は朝登		
校時多くの子がいるなあと思った。		
・生徒数の減少で、もまれることが少ないため、		
高校に行ってからカルチャーショックになる		
場合がある。		
· 奈良県 < 明日香村 (県外就業率、県外就学率)		
次の場所、学校・職場		

<小→中学校で村外に転入、部活・進学面>

現状・課題	アイデアなど
・子どもの意識、別の所に住みたい。小6・中3	・聖徳中をもっとアピールする。
がターニングポイント、小中高一貫にしては?	・教育に力を入れていることをアピールする。
・小6の子、中学への楽しみがない。友達が増え	・部活は高取と合併してはどうか。
ない、変わらない、部活がない。先生しか変わ	・中学生の人数減少→クラブの不活発→根本から
らない。	変える必要。試合の登録の仕方、クラブは教師
・子ども数が少ない。楽スポもあり部活人数が足	指導でないように。
りない。	・聖徳中学校は大変恵まれている。オーストラリ
・優しく思いやりのある子どもたちが多いが、ハ	アに子どもが少ないにもかかわらず 10 名も行
ングリー精神にやや欠けるところがある。	けるということは良いことである。 もっとPR
・夢が小さくなっている。	するべき。

<子育て支援、仕組みと利用者と合っていない(条件・情報)>

現状・課題	アイデアなど
・ショッピングできるお店がない。	・行政からつないで、ママ同士が親しくなれる取
・仕事を持っていると村のママ会などに参加でき	り組みをしてはどうか。(他の自治体事例あり)
ない。	・マコリエの部屋にだれがいてくれたら良い。
・子育て支援センターがうまくまわっていない気	・母子手帳をもらう時に子育て支援の仕組み etc.
がする。	を詳しく教えてもらう。

- ・マコリエの部屋が少し使いにくい。
- ・気軽に子育て世代が集まれる場所がない、世代 間コミュニケーション。
- ・結婚~未就園児の子どもを持つ女性の孤立。

・らっことかくまさんとか支援があって、親のつ ながりが広がるのでこの機会を拡充できれば どうか。

<保育園の入園条件に問題がある>

現状・課題	アイデアなど
・明日香保育園に明日香村の子どもが少ない	・募集の方法を様々な場でもう少し事前に広報す
・保育園に入れない。	る。
子ども3人~4人いる方が多い。	・保育園の募集要項を広報やママ会などでお知ら
	せする。
	・保育園と幼稚園の両方を同時募集して、幼保と
	小中との連携を図る。

<遊び場・公園 etc.子どもたちが利用できる数が少ない>

現状・課題	アイデアなど
・遊ぶ場所が少ない。	・生活の身近な所に文化・歴史・自然があること
・小さな公園が少ない。	に対して、子どもたちにわかりやすく教える環
・自然環境が良いが、活かされていない。	境づくり。

<住みたくても住宅が少ない>

現状・課題	アイデアなど
・家がなかなか建てられない。ハイツ etc.	・子育て世代が魅力的に感じる、おしゃれなハイ
・住宅地が少ない(家を建てるところがない)。	ツを建てればどうか。
・住宅が少ない、子育て世代で明日香村に住みた	
い人はいる。	
・村に転入してくる若い世代が少ない。入りたい	
が空家や土地はあるが条件が合わない場合多	
いと聞く。(広すぎる。高すぎる)	

<車の移動が中心、歩くのに歩道に難点>

現状・課題	アイデアなど
道が狭い。	・生活道路の確保、道が1本しかないと災害が起
・歩道が狭い。(自転車、ウォーキング)	きた時困る。将来子どもが帰って来れる (来よ
・何をするにも車が必要、歩けない距離。	うと思える) ように、まずはライフラインや歩
	道、道路整備が必要。

<良い所>

現状 : 課題

- ・楽スポは村外の人からうらやましいと言われる。
- ・明日香村は教育に大変力をいれており、現在、 幼小中一貫教育に取り組んで6年目で、子ども たちをきめ細かく育てていくことができる。教 育設備が充実している。明日香の風や日韓交流 など。
- ・四季を感じられる子育てができる。
- ・学童が6年まで、19時まではありがたい。

アイデアなど

- ・放課後の活動を増加させる。
- ・郷土意識さらに高める。
- ・インバウンドなど、外部(村外)から旅行者が 訪れる機会が多くなる中で、国内外とつながる 取り組みを進める。



◆2班:健康で生き生きと暮らしやすい村づくりく健康、地域福祉>

①集まる所(サロンのような)が少ない

現状・課題	アイデアなど	
・かぐのみ、村内の利用者が少ない	・集会所など地元での集り(歩いていける場)を	
・かぐのみの魅力的な企画が必要?(村内の人を	増やす。	
増やすため)	・いきいきサロンを立ち上げ積極的活用する。	

・いきいきサロン:39大字中、16大字にある。	・いきいき体操を地元でする。
・老人会の活性化	・老人会から積極的にサロン事業の充実する。

②交通手段がなく出かけられない(高齢者の方)

現状・課題	アイデアなど
・お年寄りが引きこもり=車が運転できなくなる	・免許証の返納を促し、かめバスなどを利用しや
・高齢者の方の運転が危ない。	すくして積極的に利用。
・車が運転できなくなった時の移動が心配。	
・車での移動が当たり前になっている。	

③生きがいや目標がない/④世代間交流がない

現状・課題	アイデアなど
・高齢者の生きがい。	・キョウイク:今日行く所がある。
・居場所がない。	・キョウヨウ:今日用事がある。
・することがない。	・見守りと支援。
・山間部だと特に車がないと農業できない。車の	・子どもとのふれあいを増やす (七夕など)。
運転するなと言われると農業もできなくなる。	・高齢者と小さい子がつながる場づくり。
・大字では若い人が家から出て暮らしている。	

④買い物など

現状・課題	アイデアなど
買い物できるスーパーがない。	・企業誘致
・村の人が通いたくなる定食屋がない。	正未即5 以

⑤健康

現状・課題	アイデアなど
・往診が少ない。	・サロン事業の拡充
・体の調子が悪い人、一人住まいの人	
・福祉センターの運動施設が利用しづらい	
(料金・開放性)	



◆3班:安心・安全・快適に暮らせる村づくり〈暮らしの環境(道路・交通・防災など)〉

<道路>

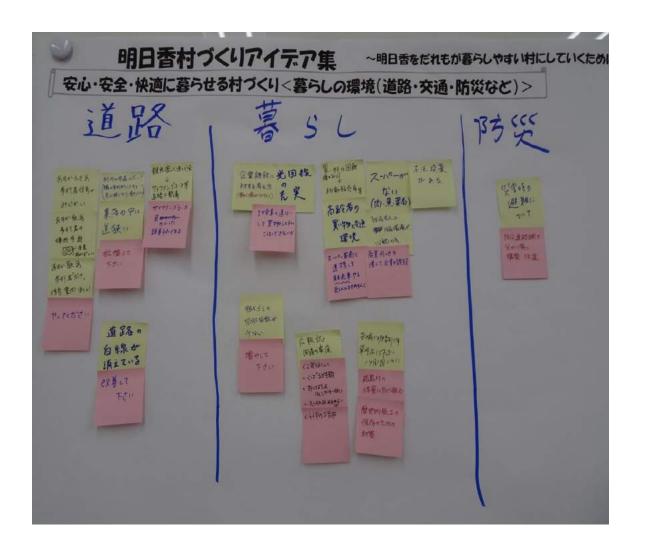
現状・課題	アイデアなど
・駅前の歩行者信号が短い。	・駅前横断歩道をスクランブル交差点にする。
・村内の歩道は広い!(隣の市町村に入ると急に	・駅前に歩行者だけの信号案内がほしい。
狭くなり歩きにくい)	・道の拡幅、白線などの改善。
・集落の中は道が狭い。	・サイクリングコース等道路を整備。
・道路の白線が消えている。	・サイクリングコースに色のついた誘導線の設置。
・観光客が集落に迷い込む。	

<暮らし>

現状・課題	アイデアなど
・スーパーがない。(肉・魚・薬局)	・スーパー・薬局と連携して移動販売車の運行。
・買い物の困難である。(車のない人)	(売る人は村内の人でしてはどうか)
・高齢者の買い物と交通環境が必要。	・商業用地を増やして企業を誘致。
・独居老人の住居環境が心配。	·IT 企業と連携して買い物システム構築できない
・企業誘致に対する考え方。(働く場が少ない)	カゝ。
・光回線の充実。	・同居家庭には広報紙を 2 部配布できればどうか。
・広報紙同居の家庭に1部のみ、配布時期(遅い)	・広報紙を置く場所を増やしてはどうか。
・飛鳥川の草刈りを1カ月1回くらいしてもらい	・HPの積極的な活用。
たい。	・歴史的風土の保存のための対策として、飛鳥川
・粗大ごみの回収回数が少ない。	の修景保全の積極的な取り組み。
・不法投棄の改善。	・粗大ごみの回収回数を増やしたり、パトロール
	の実施。

<防災>

現状・課題	アイデアなど
・災害時の避難	・防災連絡網を事前に分かりやすく構築、伝達



第2回「明日香らしさを守り、継承していくために」

1) 当日スケジュール

時間	内容
19:00	開会
19:00~	挨拶
	会の進め方の説明
19:15~19:30	村の現状と課題について説明
19:30~20:25	グループワーク
	参加者自己紹介
	1 班・2 班・3 班 同一テーマ
	「明日香らしさ支える「農」と自然環境を守る①」
	「明日香らしい景観づくり②」
$20:25\sim 20:30$	休憩
20:30~	意見のまとめ (各班発表)
21:00	閉会

2) 意見のまとめ(各班発表)記録

◆1班

- ・獣害に関して、特に稲渕側にウリボウが多すぎる。上平田も年々増えてきている。
- ・解決策として、斬新なのはイノシシ用に畑を開放して回遊させ、イノシシ用の土地にしてしまう。 地道に個体数を減らす、猟師を増やす。根本的に、昔の山は落葉樹が多く、落ちたドングリをシ シが食べて暮らしていたが、今はスギ・ヒノキの針葉樹林ばかりになり、食べるものがないので イノシシが下に下りてきている。根本的に山を昔の山に戻していくことも必要ではないか。
- ・担い手不足について、現在の若者は農業について意欲が乏しい。親御さんが農業をしていても苦労しているのがわかっているから、知っている人ほど継ぎたくなくなる。明日香で地元の人がなかなか継がない理由にもなっている。
- ・対策として、農道の整備、若者が参加できるきっかけを作る、土壌がどこの大字はどの野菜が向いていると決めてあげれば意欲が出るのではないか。
- ・土地の活用について、耕作放棄地、畑が荒れると山も荒れて悪循環になる。対策として、人が見に来るような植物を植える。竹を燃やして竹炭にして、竹林の価値が出るように活用する。





◆2班

<農業>

- ・若手が少なく新規の人が入りにくい。農業従事者の減少・高齢化。耕作放棄地の増加。
- ・解決策として、便利の悪い田畑にせめて2トン車が入れる道路整備。明日香で農業をやりたい人 への田畑の売買や貸し借りの促進。農業の魅力の情報発信、農地の貸し借りの情報発信など。
- ・耕作放棄地について、例えば3年以上耕作されなかったら自動的に村が管理するような制度。四季の花を植えて花見の名所にして、今まで以上に来訪者が来るようにしてはどうか。
- ・明日香村を出て行く人に持っている土地について聞いて、それを管理する制度を作ってはどうか。 <林業>
- ・インフラ整備がされていない。山に木がたくさん育っているのに収穫するすべがない。ヘリコプ ター使用で合うような材価ではない。道をどうやってつけるかが課題。
- ・市場に売ると自分では価格が決められない。そのような材価で売っているので成り立たない。販 路を考える必要がある。
- ・若い人が入って来られる環境が整っていない。初期投資がかかる。技術を学ぶ場がない。住む所がない。
- ・農業も林業もどういう若い人に入ってきてもらいたいかという話になった。

<景観>

- ・明日香法で守られて、いろいろ規制がかかっている中、何10年も前につくられた規制が今に合致しているかどうか、見直しが一度必要ではないか。
- ・若い人がすぐ住めるような場所がほしい。
- ・景観が単調でスギ・ヒノキが90%を超えている。明日香は本当にそれでいいのかという問題提起があった。
- ・歴史的風土を誇りと思っている村民が多い中、それを守り続けなければいけないという。それでも耕作放棄地が増え、竹林が放置されているというジレンマがある。高齢化がどんどん進む。そもそも明日香らしさとは何なのかという村民のジレンマがあるのでは。
- ・若い人達が入ってきて、住めるような安い土地や家のゾーンをつくって、農林業に就業してくれるような若い人が住めるような場所をつくった方がいい。
- ・空き家バンクがあるがどれくらい活用されているのか見直しが必要では。空き家が高いという声が多いので、もう少し価格を抑えるよう、その仲介のあり方を見直し、リフォームの補助のあり方も考えて、空き家の活用を、シェアをするなどハードルを下げて若い人が入ってくる環境が整えられたらいい。

<その他>

- ・広く農業を知ってもらうために、明日香村の一部で、広い駐車場、トイレを設置し、鍬や鎌など の道具を設置して、貸農園で農業に親しんでもらう場所をつくってはどうか。
- ・それがうまくいけば、放棄地をきれいに整地していけるのではないか。そのために、放棄地にも 入りやすいように道だけはつけていくようにしてはどうか。
- ・林業の需要の問題で、明日香村で家を建てる場合、何%かを明日香産材を使用すれば、使用率に 応じて補助金を出す制度ができれば、明日香産材を使う割合も増え、林業の収入増の支えになる のではないか。





◆3班

- ・獣害の問題は大きいが、今は谷の方の一部に餌場を作ることで大分改良できるのではないか。明 日香村の中で出てくる生ごみもそこで活用すればいいのではないか。
- ・明日香村は何と言っても一番はいちご「あすかルビー」だと思う。飛鳥ブランドを立ち上げるには「あすかルビー」でいくのがいい。あすかルビーは季節によってはとてもおいしいが、年間を通してみると味にばらつきがある。名前は変えずに味を美味しくしていけばいいので、あすかルビーをもっと伸ばしていけばいい。それに特化した商品をどんどん売っていき、そこに補助を付けてでもあすかルビーを伸ばしていくのがまず一番だと思う。同時進行で四季に応じた果物を作っていくべきだと思う。
- ・有機農業は手間がかかるがお金にならない。低農薬でつくる野菜の方が収益性が高く、継続性もある。ただ飛鳥というブランドを立ち上げて、伸ばしていこうとすれば、やはり有機無農薬のネームバリューははずせないと思う。そこに対する助成も明日香の農を考えていく、これから先の農業者をつくるために必要だ。特に地域就農で、明日香という農業整備状況の良くない土地で就農しようとする若い人は有機無農薬を志向している人が多いので、そこに目を向けてもらえば就農状況が変わってくると思う。
- ・同時に住宅の補助も村主導で村営住宅を建ててもらえれば。農地に簡単な仮設の建物を建てることが許されるよう法律の運用の改善を望んでいる。
- ・明日香らしい景観づくりとしては、明日香らしいとは何かを考えると、農地や農道が続くような、 それも土ぼこりがたつような道でいいように思う。できればアスファルトの撤廃や万葉植物の植 栽などにも力を入れてもらえればどうか。
- ・奈良も明日香も、もっとアグレッシブにとがって商品や提案をどんどん打ち出せるような環境づくりができればと思う。特区の選定では、明日香の栽培物を利用した酒を作ろうとすれば、明日香ではだめでも特区の選定があればと思う。畜産では、畜産に関わる建物の基準を下げてもらい参入していきやすい環境を作ってもらえば、明日香の昔のチーズ蘇など、せっかく色々な種があるのに法律があるために色々な種を拾えずにいる状況があると思うので、村主導で緩和をして環境を作ってもらいたい。

<その他>

- ・耕作放棄地の活用で、植樹(万葉植物の話も出たが)、四季を通じてそこで栽培されたものを活用 し、プラス花でによって年間を通して観光客の誘客を図ればどうか。
- ・明日香らしさでとがった主張もしていけばいいということで、明日香法で規制して自由を奪うだけではないものがあるのを、うまく活用できていない現状があるのかという感覚がある。そういう主張をしていける土壌がないのかと思う。そういうことをどんどん発信して、相談したり、共

有したりできるような、ワークショップのような場を定期的に開催できれば。明日香座が村で開催されているが、もっと若手が集まるような交流の場があると良いと思う。

・明日香らしい景観づくりでは、万葉植物の植栽で景観をよくして、花が年間を通じてあれば観光 客も来るのでは。





3) グループワーク記録

「明日香らしさ支える「農」と自然環境を守る」「明日香らしい景観づくり」

◆1班

①獣害

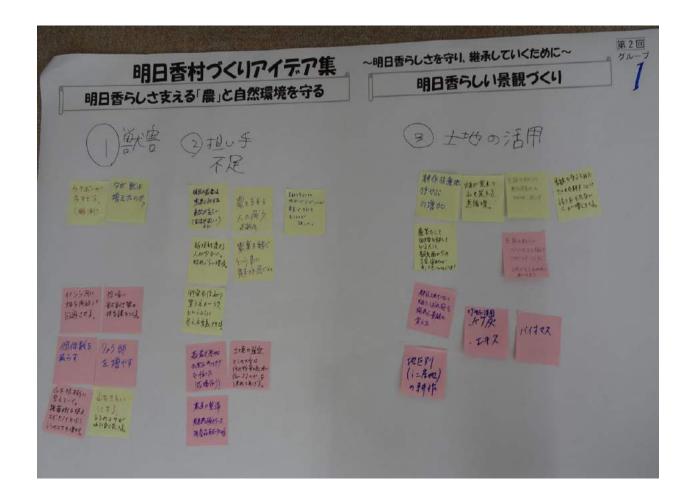
_ = -:	
現状・課題	アイデアなど
・ウリボウが多すぎる。(稲渕)	・イノシシ用に畑を開放して回遊させる。
・なぜ獣は増えたのか?	・個体数を減らす。
・山にイノシシの餌がなくなっている。	・猟師を増やす。
	・山を根本的に変えていく。スギ・ヒノキを減
	らし、落葉樹を植え、シシの餌を増やす。

②担い手不足

現状・課題	アイデアなど
・農を支える人の減少、高齢化。	・花壇づくりなどから若者が参加できるきっかけ
・現在の若者は農業に対する意欲が乏しい	を作る。
・景観を守るための規制が厳しいので農業で生計	・土壌の選定、どこの大字は何の野菜栽培に向い
を立てるのが難しい。	ているかを決めてはどうか。
・農業を継ぐということに魅力を感じない。	・農道の整備、農業機械のリース、特産品を作り
・新規就農する人が少ない。はじめづらい環境。	上げる。
・野菜を作るより買う方が楽というように考え方	
が変わってきている。	

③土地の活用

現状 : 課題 アイデアなど ・耕作放棄地、竹藪の増加。 ・竹の活用: 竹炭、エキス、バイオマス。 ・畑が荒れて、山も荒れる、悪循環。 ・地区別の耕作(ミニ産地) ・宮跡のまわりの耕作放棄地をなくす。 宮跡のまわりにフジバカマを植えてアサギマダ ・景観を守るために土地を耕すことに誇りを持た ラ(蝶)をよぶ。子どもや大人も関わることが ない人が増えている。 できる。 ・農業をして田畑を耕している人に観光面からの 資金援助があってもいいのでは。 ・耕作されていない畑にしだれ桜を植栽し景観を 変える。



◆2班

く農業>

現状・課題

- ・農業を継承できていない。
- ・若者が少なく、新規の人が入りにくい。
- 農業従事者の減少及び高齢化への対応。 (若年者減)
- ・明日香で農業をやりたい方たちへの田畑の売買 について
- ・もう少しお金が儲かればいい。
- ・農業にかかる資本が高価である。
- ・農業をやりたい人たちの住むところの確保。
- 便利の悪い田畑が荒れている。
- ・耕作放棄地の増加及び未活用の増加。 (有効活用できていない)。
- ・獣害被害の対応。

アイデアなど

- ・農業の魅力発信。(人との関わりが魅力)。
- ・農地の貸し借りの促進、(農地に関する)情報発信。
- ・農地をすぐ貸せるようにできる情報発信。
- ・田畑にせめて2t車が入れる道路整備。
- ・広い駐車場・手洗い・道具貸しを設け貸農園に できれば。
- ・近隣市町の人たちが集える週末農業の畑を作る
- ・耕作放棄地を(放棄) 3年以上で自動的に村が 回収する制度ができないか。
- ・村を出て行く人に持っている土地について聞いて管理する制度ができないか。
- ・耕作放棄地に四季の花を植えて、花見の名所に する。そこへアクセスしやすい道路整備の実 施。

<林業>

現状・課題

- ・景観が単調、人工林 (スギ・ヒノキ) 率が 90% を超える。
- ・間伐で収穫できる樹齢に達した木が多い。
- ・伊勢湾台風による割れ材が多い。
- ・収穫する方法がない。
- ・従事者が少ない。
- ・副業で林業に就く人が学べる学校がない。
- ・木材バブルのノスタルジーが邪魔をしている。
- ・植林~収穫まで育材費用を回収できない。
- ・ 収支を合わせられず放置。
- ・初期投資が大きい。
- ・市場で売るから価値を自分で決められない。
- ・相続によって境界がわからない人が増えている。

アイデアなど

- ・森林組合で林業を学べる環境づくり。
- 補助金制度の導入及び活用。
- ・飛鳥樹木のブランド化。
- ・木材の新規需要のため家具作り職人の招聘。
- ・林業の需要増と収入増のため、明日香産材の利 用に補助金を出してはどうか。
- ・花材としてコウヤマキを栽培したら良いのでは。
- ・草が生えないよう栗園をつくり栗狩りを推進してはどうか。
- ・山間にウォーキング道を付ける。

<景観>

現状・課題 アイデアなど ・若い人がすぐに住めるような場所がほしい。 ・歴史的風土保全に対する規制の緩和、見直し。 ・景観づくり、社会貢献活動のあり方。 ・若い人が住めるよう、安い土地、集合住宅のゾーンをつくってはどうか。 ・明日香らしさって何ですか? ・空き家のシェア、活用。 ・空き家が高い!仲介のあり方の検討。 ・作れ人が住むのに)ハードルが高すぎる。



◆3班

<林業 (森林整備) >

現状・課題	アイデアなど
・獣害 (イノシシ、シカ)	・山林へ餌場づくり(山中に広葉樹)
• 獣害有効対策	・猟師の増員
	・特区の設定

<後継者、新規農業従事者>

現状・課題	アイデアなど
・農業従事者不足。	・若い農業後継者を育てるための村独自の融資制
・農業の担い手の確保対策。	度の制定。
・若い農業後継者の減少。	・村内の農業後継者を育成するための村独自の補
・就農者高齢化。	助制度。
・不便な農地。	・村営住宅の建設。
	・農家の支援。
	・農業体験の拡充。
	・農産物ブランド化による農業収入の増加。
	・買入地の有効活用、農業経営の改善に向けて
	クラインガルテンの設置・開設。
	・規制の緩和。

<農業のあり方>

現状・課題	アイデアなど
・年間を通して、農業の観光的活用。	・四季の果物収穫。
・夏冬、観光客が少ない。イチゴ狩りには約5	・夏の観光客増加のためにキャンプ場の設置。
万人が来られ、それをうまく利用できないか。	
・旬彩館の加工所の設備が旧式。設備を近代化し	
てほしい。	
・サクランボはもうからない。	
・飼料米生産者の不在。	

<独自性(ブランド)>

現状・課題	アイデアなど
・農業に対する魅力、ブランド、収入、やり甲斐。	・明日香村を代表する特産品の開発。
・農産物、特産品のブランド化、高付加価値化、	・有機無農薬栽培への助成。
独自性の確立。	・村の奨励作物をつくる。
	・食につながる農業作物 PR、ブランド評価。

<耕作放棄地>

現状・課題	アイデアなど
・耕作放棄地の増加。	・6次産業化の推進。耕作放棄地を利用した農作
・耕作放棄地の増加をうまく解消する方法。	物の提供による加工品の開発。
・草を刈るだけでは無意味。	・耕作放棄地を利用して、紅葉の里づくり。
	・放棄地への広葉樹の植樹。

く明日香らしい景観づくり>

現状・課題	アイデアなど
・「明日香らしさ」で目指すものの共有。	・都会から近い里山風景。
・慣行農業。	・全村史跡・農業公園的整備。
・明日香らしさ、人の手が入った自然(大自然で	・田舎の徹底。
はない)。	・アスファルトの撤廃。
・町とは異なる集落のあり方、日常生活での勝手	・各大字間の景観美化に関する連携。
具合。	・万葉植物の植栽。
・景観保全活動への住民の参加促進。	・年間を通じて、花修景の創成。
・ボランティア(無償労働)多用は駄目である。	
・お金を落としてもらう仕組みが弱い。	

くその他>

現状・課題	アイデアなど
・若手が交流する場があるといい。	・就農者などの研修会の開催。



第3回「明日香らしさを活かし、活動や交流をつくるために」

1) 当日スケジュール

時間	内容
19:00	開会
19:00~	挨拶 (総合政策課)
	会の進め方の説明 (総合政策課)
19:10~19:30	村の現状と課題について説明 (総合政策課)
19:30~20:25	(各グループで自己紹介)
	参加者紹介
	グループワーク 1班・2班・3班 同一テーマ
	「明日香らしさを活かした活力ある村づくり
	<観光、情報発信、商工業、働く場づくり>」
20:25~20:30	休憩
20:30~	意見のまとめ(各班発表)
21:00	閉会

2) 意見のまとめ(各班発表)記録

◆1班

- ・「明日香らしさ」とはどういうことか明確化させることが大切なのではないか。
- ・ネガティブ要素として人口の減少、「らしさ」とは何か、レジャーの欠如、交通に関する問題があるのでは。
- ・明日香のパンフレットや広告が文化財中心に掲載されているものが多いのでは。
- ・観光して回る自転車に特に注目し、自転車で明日香を回られる方が多いということで、自転車メーカーとのコラボレーションをやればいいのではないか。実際に自転車に乗られるので、いろいろな自転車に乗ってまわりやすい道、環境、路面を良くできれば。
- ・新たに自転車人口を増加させて、明日香に来てもらい、様々な文化を感じていただきファンや、 リピーターを増やすことができればと思う。ターゲットは中年層で、高齢になるまで、明日香が 好きな人を増やしていく村づくりができればと思う。





◆2班

<観光>

- ・観光に関して、飛鳥時代に興味を持っている人が少ない。飛鳥時代をいかに伝えるか。情報発信 にも関係するが、飛鳥時代をイメージしやすい情報発信が必要。
- ・文化財を活用して、ふるさと納税の返礼品に特別メニューを追加して、特別な場所にはいれると

かのメリットを付ける。

- ・紙芝居など目で見て理解できるような対応をして、誰でもわかるような仕組みをつくる。
- ・日本全国的に少子高齢化が進んでいる中で観光客数もどんどん減っている。それなら高齢者をターゲットとして観光客の数を増やしていけばいいのではないか。行先にどうやって明日香村を選んでもらうかの課題。テレビやマスメディアに積極的に情報発信する。
- ・観光客は増やしていきたいが、あまり派手なことはしない。伝統的でないもの、(「明日香らしさ」 の定義はできていないが) 明日香らしいと思えないようなことで、観光客の人数だけを増やすよ うなことはせずに、整備されすぎない明日香村の、明日香村にだけあるような特権的な風景や景 観を守りながら、それをアピールしていく方法を考えていけると良い。
- ・情報発信にもつながるが、Youtube の活用や SNS の発信を地道にやっていく。世界に向けて発信していく。

<商工業・働く場づくり>

- ・商工業を始めようとしても、その場所がない。
- ・空き家バンクを活用して、空き家などを掘り起こして、物件を提供していく。一度明日香を出た 方にも斡旋していく。リフォーム・リノベーションをした空き家見学ツアーを所有者対象で実施 するのがいいのではないか。
- ・働く場は来る人が決めるので、私たちがつくって用意するものではないと思う。





◆3班

- ・村民は地元の明日香村のことをどれくらい知っているのかが鍵である。
- ・来訪者向けの事業であっても、どこをターゲットにして、どのように観光客を誘致しようとして いる村の取り組みを理解してもらうため、積極的な村民への情報提供、情報発信が重要。知らな い人、村民が多く見受けられる。
- ・広報あすかを活用して、明日香村の歴史をマンガや動画などを使って簡単に分かってもらうような広報を発行したり、文字だけではなくイラストや図を使って、わかりやすく村を PR するような広報、読みたくなるような内容にして、明日香村を改めて知ってもらうことに重点においた PR をしてはどうか。
- ・観光のあり方について、「明日香らしさ」を村で考えて、定義をして、ターゲットをどこを増やしたいかを踏まえて、呼び込むために体験プログラムやお金を落としてもらえる仕組みなど、村としての指針をはっきり示す必要があると思う。
- ・若い客層、個人客、インバウンドを呼び込むため、宿が足りない、食事をするところが足りない、 というところを重点的に底上げして、また団体客を呼びたい、小学生・学生を呼びたいなら、も っと体験プログラムを増やすなど、来訪者のターゲットごとに観光の指針を示すことができれば、 そこに向け村や観光に携わる事業者が、一体となって誘客を目指すことができるのではないか。 <その他>
- ・民泊で「大和飛鳥ニューツーリズム協議会」において、中国・台湾・シンガポールなどから明日香に来られている。村の防災行政無線を使って「民泊で○○の国から明日香村に来られている皆様の離村式が○○時から始まります。村に訪れて下さった皆様これからも良い旅を続けてください。」などの放送を入れてニューツーリズム協議会などが何をやっているかなどを、PR して村民と情報を共有できないのか。
- ・明日香村の姉妹都市は韓国扶餘郡だが、村に来る韓国の人が全く少ない。姉妹都市提携を結んでいるなら、もっと韓国の方を呼び込んではどうか。





3) グループワーク記録

「明日香らしさを活かした活力ある村づくり<観光、情報発信、商工業、働く場づくり>」

◆ 1 班

<観光>

現状・課題	アイデアなど
・レジャーの欠如。	・来村してサービスがある施策。(割引など)
・どの世代にも明日香をアピールしたいのか。	・自転車、ターゲット、若い人。

- ・若い人が来たくなる明日香に。
- •「らしさ」の欠如。
- 明日香らしさにこだわり、何もチャレンジできない。
- ・県外へのイベント等の PR 不足。
- ・周遊歩道の見直し。
- ・来訪者の季節差が激しい。

- ・今から高齢者に入る人をターゲットに変えて くべき。 $(20\sim30~~~$ 歳と言わず)
- ・来てもらってから良さを分かってもらう。
- ・明日香ファンを増やす施策として自転車を PR する。
- リピーターを増加させる。
- ・自転車大手のブリジストンと組み、自転車での ストーリーを作りコラボレーションする。
- ・メーカーと組んでサイクリングロードをつくる。
- ・コンセプト、ターゲットを決めて企業に協働し、 誘客する。
- ・何かに特化していないと人は呼べない。(例)「たんぽぽの道」の整備

<情報発信>

現状・課題	アイデアなど
・パンフレットが多い。	・イラストで紹介する。
・資源のアップデート。	・SNS の活用。
・大きな考古学的発見、ニュースが活かされてい	・発掘を定期的に見せれればどうか。
ない。	・「明日香らしさ」をビジュアル化できないか。

<地域の活性化>

現状・課題	アイデアなど
・宿泊施設を増やす	・「らしさ」を守るのと緩和するところを分ける。
・観光地にしたいのか保全を優先するか。	・人口増えなくても、村が潤う方法、目玉ができ
・永遠に保存するべし。	るのであれば、昼間人口だけでも増やせばよい
・規制が多く家を建てるのが大変。	のでは。
・人口減少の対策。	・外国人が増えているので、インバウンドに対応
・活力となる人が減少。(若者、子供)	した情報発信。
・方向の整理をするべき、何本かに絞る、とが	・どの世代に向けていきたいのか明確にするべ
っていない。	き。
・多目的になって目的がわからない。	・この村には「農」が大事であるため継続してい
	ける取り組み。

<交通の課題>

現状・課題	アイデアなど
・バスの本数が少ない。	・交通に対する情報発信の強化。
・飛鳥駅前交差点の混雑。	
・駐車場の問題。	



◆2班

<観光>

現状・課題	アイデアなど
・飛鳥時代に興味を持っている人が少ない。	・文化財を活用し、ふるさと納税返礼品に特別メ
・飛鳥時代をいかに伝えるか。	ニュー追加してはどうか。
・全体を理解する仕組みがない。(少ない)	・イベントを全体的に調整して重複しないように
・少子高齢化に対応。	してはどうか。
・旅行の行先にどうやって「明日香村」を選んで	・伝統的でないものをしないことで明日香らしさ
もらうのか。	をつくる。(整備されすぎない特権的風景)
・イベント日が重複して観光客を取り合ってい	・"何もない"のが良い、景観は守るべき。
る。	・景観や環境に良いトイレ増やす取り組み。
・イベントなしで明日香に人が来ない。	
・「観光地」としての村民の方々の考え方捉え方。	
・観光客のマナーが悪い。	
・明日香に対する知識が少ない。	
・休耕田が増えてきている。	
・夏場の観光客が少ない。	
・お金を落とす場所が少ない。	
・駐車場が少ない。	
・トイレが少ない。	

<情報発信>

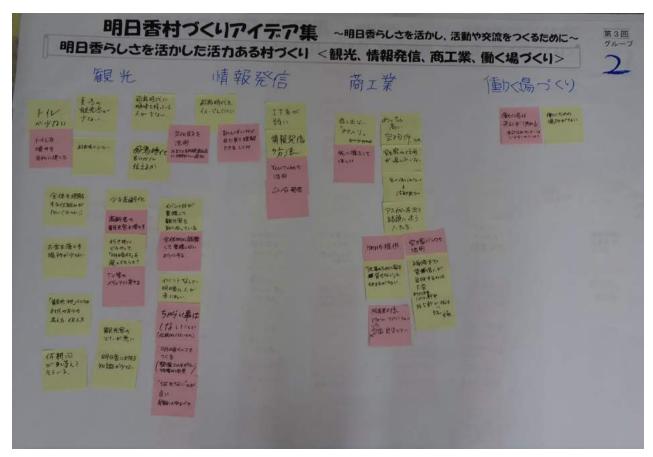
現状・課題	アイデアなど
・飛鳥時代をイメージしにくい。	・紙芝居など目で見て理解できるしくみ。
・IT 系が弱い。	・Youtube や SNS の活用。
・情報発信の方法。	

<商工業>

現状・課題	アイデアなど
・土地や建物の物件が高い。	・物件提供の情報発信。
・借家の補修まで賃借人が負担するのは大変。	・空き家バンクの活用や所有者対象、リフォー
・空き家活用が進んでいない。	ム・リノベーションした空家見学ツアー。
・「法事のため家を貸せない」所有者に対応。	・「村入り」をわかりやすく提示できる仕組み。
・表に出ない「村入り」の情報。	
・家が借りられず地域に活気が出ない。	
・『ASUCOME(あすかむ)』明日香村チャレンジ	
ショップの卒業者が村内の店舗出店場所に迷	
う。	

*<働く場づくり>

現状・課題	アイデアなど
・働くための場所がない。	・働く場は来る人が決める、余計なおせっかいは
	要らないのでは?



◆ 3 班

<明日香らしさ>

現状・課題	アイデアなど
・明日香らしさとは。	・村民が「明日香らしさ」を感じ、村民の誇りの
・明日香は日本人の心のふるさと、本当か?	醸成できる仕組みづくり。
	・村人に地域の宝を学ばせる。
	・広報の仕方を考え、読みたいと思える内容にす
	る。

<情報発信>

現状・課題	アイデアなど
明日香村のターゲット層はインバウンドなのか	・過去のことだけではなく、今とのつながりを話
学生なのか。	し伝えることが重要。
・明日香村の観光 HP あれでいいのか。	・過去の歴史や造りが、今につながっているよう
・土に埋もれた史跡が中心なのでアピールの仕	な PR の仕方が必要。
方。	・マンガみたく、わかりやすく、明日香の PR で
	きればよい。

- ・万葉集と明日香の関係をうまくアピールできていない。
- ・伝統芸能・伝統行事の広報のやり方→後継者の 育成。
- ・他所へのアピールが足りない、世代別(限定的)
- ・難しすぎるためもう少しやさしく説明できるようにする。
- ・来訪者向けであっても地元への理解周知も重要。※バーチャルの体験など。

<体験>

現状・課題	アイデアなど
・歴史、万葉、景色、魅力がいっぱい、PR 方法	・コスモスを一帯に植え、摘み取り体験をしても
がよくわからない。	らう。
・明日香に来村していただいて、体験の土俵をつ	・その近くに万葉の花を植え、万葉集を書く。
くる。	・綱掛けの近くにロウバイを植える。(12 月、1
・体験が重要。	月に花が咲く、摘み取り体験) 近くに万葉の花
	(いろいろな季節に咲く)を植える。
	・農業体験、こんにゃく作り、古代米栽培など耕
	作放棄地を活用する。
	・国営飛鳥歴史公園内で体験プログラムとして
	様々な体験プログラムを検討。(農業体験など)

<イベント>

現状・課題	アイデアなど
・夏と冬の観光客が少ない。	一度整理する必要。
夏と冬はイベントがない。	・イベントを育てる。(村人に定着していない)
・イベントが多い。	
公的イベントをどうにかする。	

<その他観光の課題>

現状・課題	アイデアなど
・食事するところが少ない。	・企業誘致。
・泊まるところが少ない。	
・飲食が充実していない。(作りから提供まで)	
・お店が閉まるのが早い。	
・観光協会、公社、ニューツーリズムの立ち位置。	

<地域の活性化>

現状・課題	アイデアなど
• 規制緩和。	・規制の緩和。
・農地の荒廃。	・観光バスから入村税をとる。
・空き家バンクの取組みの本気度合。	・地域住民の意識改革。
・働く場がない。	・地区ごとに一人リーダーを配置する。
・現実「住む場所が少ない」と「村が好き」の	
ギャップを埋めたい。	

